

感染症対策基金創設へ 3,000万円補正

6月 定例会

【趣旨】

本町では、新型コロナウイルスの感染防止対策に各種取り組んでいる。それらの経験を踏まえ、感染症対策については、中長期的な視点に立った取り組みが必要であり、地域防災計画においても必要な措置が求められている。

また、特に影響を受けやすい、子どもたちや、医療現場、福祉施設への支援を継続して迅速に行うための財源として活用するほか、町民の皆様から寄せられる思いの受け皿とすべく、白鷹町感染症対策基金を創設する。

【基金の使途】

感染症対策基金

子どもたちの健康管理と教育環境の確保

- ・感染症予防教育
- ・予防接種支援
- ・教育相談支援 等

町内医療体制の充実

- ・衣料品の共同調達
- ・健康相談（コールセンター）の設置
- ・オンライン診療の推進 等

福祉施設への支援

- ・業務継続計画作成支援
- ・リモート面会システム導入支援 等

その他感染症対策

- ・特に防災計画で必要な措置
- ・避難所の感染症対策
- ・隔離施設確保 等

4項8項に関連記事

定例会は6月4日から12日までの9日間で開催され、令和2年度補正予算3件、条例設定1件、条例改正4件、人事案件13件について審議し、原案のとおり可決いたしました。一般質問は3議員が行い、町政の事業について問いました。

全員協議会質疑

基金は全ての感染症に対応するのか

【議員】 全ての感染症対策に対応する基金か。

【当局】 新たな感染症対策にも対応する基金。

【議員】 経済対策にも基金を使用するのか。

【当局】 経済対策は、それぞれその担当予算で対応し、基金は子どもたち、医療現場、福祉施設など、影響の大きいところに使用する基金である。

表紙

待ちに待った部活動
こんにちは先輩！

新型コロナウイルスの影響で、部活動が始まらないどころか、新入部員の勧誘も難しかった白鷹中学校。

6月からようやく部活動が始まり、新入部員は緊張しながらも笑顔で先輩から指導を受けていました。初めて触れる楽器の感触に戸惑いつつも、ようやく始まった部活動のある学校生活を楽しんでいるようです。

生きる力は教科書だけでは学べません。部活動で仲間と切磋琢磨を繰り返しながら、失敗も体験しながら、思いやりのある大人になってほしいものですね。

